

# しおん

福岡志恩病院ホームページ <http://shion-hp.jp/>

## ～ご挨拶～

おおうら まなぶ  
 福岡志恩病院 放射線部長 大浦 学



2011年に開院して、この11月で早くも3年半が経ちました。  
 毎日たくさんの患者さんが当院を信頼して受診していただき、たいへん感謝しております。

当院の放射線部は、X線撮影(レントゲン撮影)、X線TV(透視)、X線CT(コンピュータ断層撮影)、骨塩定量検査(骨密度)、MRI(磁気共鳴画像検査)、超音波診断検査など、最新の画像診断機器で日々の診療をおこなっております。

患者さんからの質問で、「何種類も検査しないといけないの?」と、よく聞かれます。

上記の画像診断検査は、それぞれが得意・不得意領域があるため、複数の検査を組み合わせで精密で正確な診断をおこなっています。

私がこの仕事に就くようになった30年ほど前は、まだMRIや超音波検査も無く、やっとCTが出始めた時代でした。

この先20年、30年後、診断装置の寝台に3分間横たわっただけで全身の精密な画像診断ができる時代が到来するに違いないと私は思っています。

同規模の病院に比較して画像診断設備がかなり充実していますが、患者さんの増加に伴い、待ち時間が長くなっております。

待ち時間短縮を図るため、現在X線撮影室の増設工事をおこなっております。これが完成すると待ち時間が大幅に短縮されます。

親切・丁寧・精密をモットーに診療をおこなってまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

わからない事などございましたら、遠慮なくスタッフに声をおかけください。

# 福岡志恩病院 リハビリテーション部の☆NEW FACE☆

ちゅうがんじ あきら

福岡志恩病院 リハビリテーション部 中元寺 聡

病院が開院して早3年半が経過致しました。多くの患者様に選んでいただき、リハビリテーション部も開院当初から振り返るとスタッフの総勢もおおよそ倍となりました。

そこで今回は、本年度入職しましたスタッフの紹介をしたいと思います！！

## 【理学療法士 渋谷 友暉（しぶや ゆうき）】

初めまして、理学療法士の渋谷といいます。

出身は佐賀県ですが、広島で4年間勉強し、本年4月より志恩病院でお世話になっております。

早半年が過ぎましたが、職員や患者さん、地域の方々の暖かさに助けられながら日々業務に励んでいます。

最近のマイブームは仕事後にラーメンを食べて帰ることです。いろんな店に行ったのですが、中でもお気に入りの店は太宰府市にある“はっちゃん”。こってりしたスープに、味がしっかり染み込んだチャーシュー。こってり系が好きな自分には最高です。チャーハンも一緒に頼んだ日なんて、たまらなく幸せですね。

病院の理念の一つとして「最先端、高度なリハビリテーションの提供」があります。この理念のもと、患者さんが“より良い”生活を過ごせるようになるため日々精進しますので、どうぞよろしく願います。



## 【作業療法士 西村 彬（にしむら あきら）】

わたしは作業療法士として6年目になります。

出身は佐賀県ですが、今までは鹿児島市内の総合病院で勤務させていただいておりました。

主に、中枢疾患、整形疾患、呼吸器疾患患者を対象として関わってきました。また、訓練室でのリハビリはもちろんですが、院外リハビリや家屋調査なども含めて、包括的にたずさわることができました。

今回、今年の6月から縁があり入職させていただくことになりました。

まだまだ未熟な面ばかりですが「失敗とは成功の手前にあるもの。本当の失敗とは何もしないこと」をモットーとして、何事にも失敗を恐れず取り組んでいければと考えております。

今後は、患者一人ひとりのニーズに合わせたリハビリテーションが提供できるよう精進していくつもりです。その中で、作業療法士として少しでも役割を担えればと思っております。宜しく願います。



新入職者も加え、一層「最先端、高度なリハビリテーションの提供」の理念に恥じぬよう、スタッフ一同努力して参ります。宜しく御願致します！！



# Q&A

# 画像検査のQ&A



みなさん、こんにちは。放射線部長の大浦です。  
さてさて、今回もQ & A形式で皆さまに分かりやすく説明してまいりたいと思っております。

## Question

骨密度検査の検査方法や結果の数値の意味について教えてください。

## Answer

骨密度(こつみつど)測定は、骨粗鬆症(こつそしょうしょう)の診断に欠かせない検査です。「骨塩定量(こつえんていりょう)測定」とも言います。

測定方法や装置が何種類かあって、手や前腕部をエックス線で測定する方法、踵(かかと)を超音波で測定する方法、腰(腰椎)や股関節をエックス線で測定する方法などがあります。

当院では右写真の装置で腰椎と股関節を測定しております。腰椎と股関節を同時測定することで、より正確なデータを得ることができます。

検査寝台に約10分程臥床していただき測定しますが、痛み等で臥床安静保持できない場合は正確なデータを測定することができません。

さて、骨密度測定の結果について当院のデータ(右)で説明いたしますね。

右の赤丸の「若年成人比較%(YAM: Young Adult Mean)」の値が骨粗鬆症診断基準に用いられます。

この値は若年成人(20~44歳)の骨密度(BMD: Bone Mineral Density)平均値を100%として、被験者の骨密度値と比較して%で表したもので、80%以上は「正常」、70~80%は「骨量減少」、70%未満を「骨粗鬆症」としています。

腰椎正面の骨密度測定結果をグラフに表したのを下に拡大します。

横軸は年齢、縦軸は骨密度値とYAMで表し、YAMが80%以上が緑、70~80%が黄、70%未満が赤で領域が表示されます。

②の線はその年齢の平均骨密度値(100%)で、①は+10%(110%)、③は-10%(90%)、当該年齢での比較ができます。

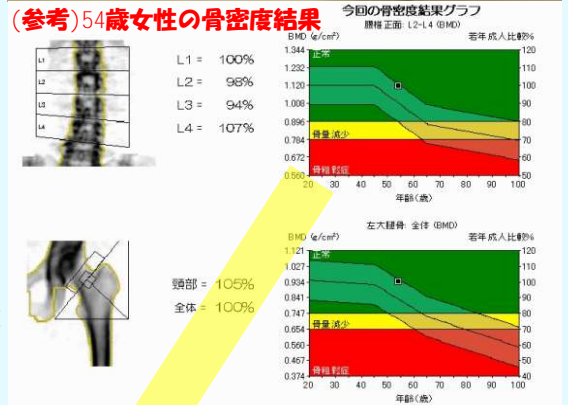
男性の平均骨密度値(右下参照)は40歳以降は緩やかな減少となりますが、女性は45~65歳で急激に減少します。これは閉経による影響です。

骨量維持のため、「栄養」「運動」「日光浴」がとても大切です。

骨量の減少を少しでも食い止める健康的な生活をこころがけましょう。



当院の骨密度測定装置

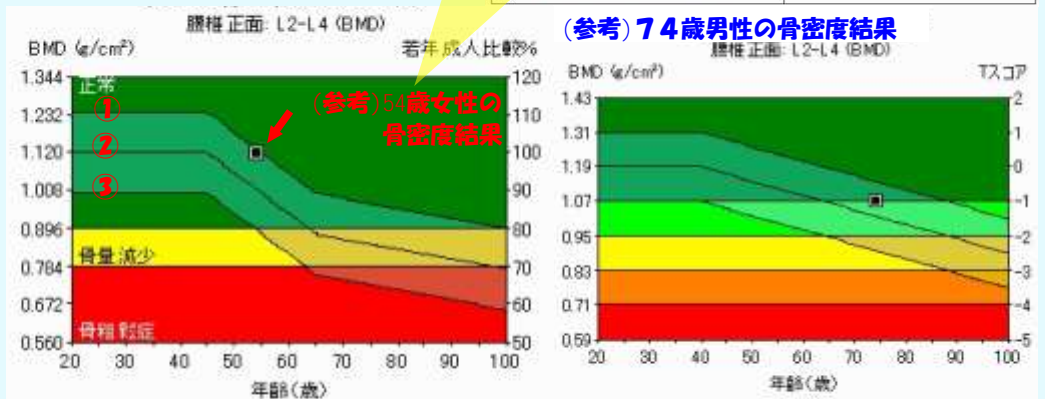


(参考)54歳女性の骨密度結果

測定年月日	年齢	部位	領域	BMD(骨密度)	同年齢比較	若年成人比較
2014/10/06	54	腰椎正面	L2-L4	1.120 g/cm <sup>2</sup>	111%	100%
2014/10/06	54	左大腿骨	全体	0.938 g/cm <sup>2</sup>	113%	100%

【結果】  
あなたの腰椎正面の骨密度は1.120 g/cm<sup>2</sup>です。同年齢の平均と比較すると111%です。若年成人と比較すると100%です。  
あなたの左大腿骨の骨密度は0.938 g/cm<sup>2</sup>です。同年齢の平均と比較すると113%です。若年成人と比較すると100%です。

＝判定基準＝  
正常：若年成人の80%以上  
骨量減少：若年成人の70%~80%  
骨粗鬆症：若年成人の70%未満



(参考)74歳男性の骨密度結果

## ◆ 志恩病院バックヤード・ツアー(その3) ◆

栄養部 管理栄養士 松田 知子

志恩病院内には、患者さんをはじめ、一般の方などが立ち入ることができない所がいくつかあります。セキュリティの都合上、紹介することができない場所もありますが、できる範囲で紹介していきたいと思えます。

第3回目は「栄養部(厨房)」です。

厨房は当院1階の外來駐車場に面したところにあります。

ここでは365日、朝・昼・夕食を委託会社の厨房スタッフが調理しています。

当院の病棟は61床ですが、患者さんはそれぞれ性別・身長・体重・既往の疾患等が異なりますので、何十種類もある食種から個々に1番適した食事を提供しています。

やはり、家庭とは作る量が異なりますので鍋や炊飯器、ザル等、調理器具は大きいものを使用しています。

厨房内にある調理器具や張り紙を少し紹介します。

写真①はガス炊飯器です。1度に5kgのお米を炊くことができますが、平日の昼食では多い時で3回稼働させることもあります。

衛生上、魚・肉・野菜等、材料別に調理器具を区別しないといけない決まりになっておりますので、写真②のように包丁やまな板は色分けをして区別しています。

写真③は温冷配膳車というもので、この配膳車の中に患者さんの食事を入れて厨房から病棟へ運びます。

両外側の扉内が「温」で両内側の扉内が「冷」です。

御飯や汁物、肉・魚等のメイン料理は「温」へ入れ、サラダや果物、牛乳等は「冷」へ入れます。温かいものは温かい状態で、冷たいものは冷たい状態で食べることが食の基本であり、楽しみの1つでも考えています。

実際に、患者さんから「御飯が温かくて嬉しい」といったお声を頂くこともあります。

さて、当院の食事ですが、基本的に2ヶ月サイクルとなっています。

単純に話してしまうと、2ヶ月間はメイン料理が毎日違うということです。

ただし食中毒防止のため、夏場は〇〇が使用禁止といった委託会社内での規則があるので夏と冬では一部献立内容が変わります。

また、食物アレルギーであったり、「どうしても〇〇だけは食べられない」といった好き嫌いはその都度個別に対応をしていますので、厨房スタッフはいつも慌ただしく作業しています。

しかし、ただ慌ただしくしているだけではミスが起こりやすいのも事実です。

そこでお互いの声かけをしてもらっています。何気ないことでも声かけすることによって二重チェックが自然とできていたりするので。

トレーに全ての食事がセットし終わったら、全患者さんの食事を1つ1つ食札と照らし合わせながら二重でチェックを行います。

食札に食物アレルギーや好き嫌い、スプーン・フォークは必要かどうか等、全ての情報が書かれていますのでここでのチェックは最も重要な仕事です。

厨房ではチームワークがとても大切です。

患者さんに安心して食事を楽しんでいただけるよう、安全で美味しい食事を日々心がけて業務に取り組んでいます。



写真①



写真②



写真③





# 診療予約のご案内

開始日：平成26年10月1日(水)

方法：専用窓口または専用電話

予約受付時間 8:30～17:30

(土曜・休診日を除く)

予約専用フリーダイヤル



0120-23-0318

携帯・PHS OK

患者様の待ち時間短縮をはかるために、当院では予約システムを導入いたします。  
お電話・予約窓口にてご予約いただけるシステムです。  
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(ただし、急患はこの限りではありません。)

ご予約にあたり、次の事項にご注意下さい

☆ ご予約可能時間

- ・窓口 … 外来診療終了まで
- ・電話 … 外来診療日の 8:30～17:30

## 電話予約の際のご注意

- ・初診の方：お名前・生年月日・電話番号をお知らせください。
- ・再診の方：診察券番号(ID)をお聞きます。  
お手元に診察券をご用意ください。
- ・予約の空き状況により、ご希望の日時がお取りできない場合があります。
- ・お電話にて予約を頂いた場合は予約票の発行ができません、  
※ 予約日・予約時間等、お間違えのないようにご注意ください。

☆ 予約は3ヶ月先まで可能です。(複数回の予約はできません)

☆ 時間枠での予約となります。(9:00～10:00等)

☆ 予約枠の5分前には受付をお済ませください。お済みでない場合は、キャンセルとさせていただきますのでご注意ください。

(検査や処置がある患者様には別途ご案内致します。)

☆ 円滑に診療を進めるため、検査や処置の内容によって診察の順番を前後させて頂く場合があります。また、混雑時には待ち時間が生じ、診療予約時間を過ぎる場合もあります。

☆ ご家族で受診される場合は、それぞれの予約をお願いいたします。  
また、ご家族以外の方からの予約はご遠慮願います。

☆ 診療予約およびリハビリテーション予約以外のお電話は、代表電話(0942-23-0300)へおかけ下さい。

## ◆ 常勤医師の紹介 ◆

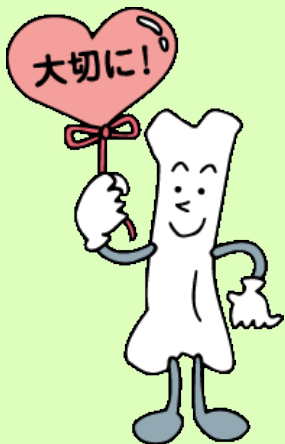
あきなが しんいちろう

秋永 慎一郎 医師



みなさま、こんにちは。  
今年の8月より常勤医となりました秋永といたします。  
整形外科全般、特に脊椎領域を専門に診療をおこなっております。  
最近、運動不足解消のため、自転車を始めました。  
患者さんのニーズに合った医療を提供できるよう、全力で頑張っ  
てまいります。  
どうぞよろしくお願いいたします。

## ◆ お知らせ ◆



平成26年9月1日より、外来診察担当医師の診療曜日が一部変更になっ  
ております。

当院ホームページや待合室の掲示版等でご確認下さい。

また、学会出張等により、外来診察医が休診または診療時間短縮等の場合  
があります。その都度、当院ホームページや待合室の掲示版等でお知らせい  
たしますのでご確認ください。

平成26年10月1日より、外来診察の予約制を開始いたしました。  
詳細は本誌第5面をご覧ください。

## ◆ 薬剤部からのお願い ◆

現在、使用中のお薬(飲み薬、吸入薬、貼り薬、塗り薬、目薬、坐薬、自  
己注射等)がありましたら、その内容がわかるお薬の説明書、又は、お薬  
手帳をご持参頂きますようお願いいたします。

入院される際には、ご使用中のお薬について検査や手術等で支障  
が無いか確認させていただきます。

詳細につきましては、当院ホームページをご覧ください。



## ◆ 編集後記 ◆

みなさん、いかがお過ごしですか？  
あっという間に夏が過ぎ、もうすっかり秋ですね。  
今年も残すところあとわずか…。今年は特に早かった気がします。  
この夏は雨・雨・雨で、夏気分を味わう期間が短く、私は海に行けなかつたの  
が心残りでした。

みなさんの夏はどうでしたか？

これから気温が下がり、寒い冬が到来しますが、健康に気をつけて充実した  
日々を過ごしていきましょう。

とだあかり  
(病棟看護師 戸田有果里)

